

平成24年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名		茨城県		市町村類型	I－1		指定団体等の指定状況		区分		平成24年度(千円)	平成23年度(千円)	区分		平成24年度(千円・%)	平成23年度(千円・%)	
									歳入総額	29,222,220	17,406,695	実質収支比率	15.2	15.2			
市町村名		潮来市		地方交付税種地	2-2		財政健全化等	×	歳出総額	25,354,780	14,381,143	経常収支比率	88.5	88.5			
							財源超過	×	歳入歳出差引	3,867,440	3,025,552	(※1)	(95.9)	(96.0)			
							首都	×	翌年度に繰越すべき財源	2,726,079	1,871,346	標準財政規模	7,510,565	7,584,798			
							近畿	×	実質収支	1,141,361	1,154,206	財政力指数	0.50	0.52			
人口		22年国調(人)	30,534 <th colspan="3" rowspan="3">産業構造(※5)</th> <th>中部</th> <td>×</td> <th>単年度収支</th> <td>-12,845</td> <td>841,864</td> <th>公債費負担比率</th> <td>9.9</td> <td>10.8</td>	産業構造(※5)			中部	×	単年度収支	-12,845	841,864	公債費負担比率	9.9	10.8			
		17年国調(人)	31,524 <th>過疎</th> <td>×</td> <th>積立金</th> <td>745,939</td> <td>1,062,402</td> <th>健全化判断比率</th> <td></td> <td></td>				過疎	×	積立金	745,939	1,062,402	健全化判断比率					
		増減率(%)	-3.1 <th>山振</th> <td>×</td> <th>繰上償還金</th> <td>-</td> <td>-</td> <th>実質赤字比率</th> <td>-</td> <td>-</td>				山振	×	繰上償還金	-	-	実質赤字比率	-	-			
住民基本台帳人口(※7)		25.03.31(人)	29,964 <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">22年国調</th> <th rowspan="2">17年国調</th> <th>低開発</th> <td>×</td> <th>積立金取崩し額</th> <td>-</td> <td>637,014</td> <th>連結実質赤字比率</th> <td>-</td> <td>-</td>	区分	22年国調	17年国調	低開発	×	積立金取崩し額	-	637,014	連結実質赤字比率	-	-			
		うち日本人(人)	29,637 <th rowspan="2">第1次</th> <td>675</td> <td>665<th>指数表選定</th><td>○<th>実質単年度収支</th><td>733,094</td><td>1,267,252</td><th>実質公債費比率</th><td>8.3</td><td>10.2</td></td></td>				第1次	675	665 <th>指数表選定</th> <td>○<th>実質単年度収支</th><td>733,094</td><td>1,267,252</td><th>実質公債費比率</th><td>8.3</td><td>10.2</td></td>	指数表選定	○ <th>実質単年度収支</th> <td>733,094</td> <td>1,267,252</td> <th>実質公債費比率</th> <td>8.3</td> <td>10.2</td>	実質単年度収支	733,094	1,267,252	実質公債費比率	8.3	10.2
		24.03.31(人)	29,854 <th rowspan="2">第2次</th> <td>4.7</td> <td>4.5<th></th><td><th></th><td><th>将来負担比率</th><td>16.6</td><td>21.5</td></td></td></td>	第2次	4.7	4.5 <th></th> <td><th></th><td><th>将来負担比率</th><td>16.6</td><td>21.5</td></td></td>			<th></th> <td><th>将来負担比率</th><td>16.6</td><td>21.5</td></td>		<th>将来負担比率</th> <td>16.6</td> <td>21.5</td>	将来負担比率	16.6	21.5			
		うち日本人(人)	29,854 <th rowspan="2">第3次</th> <td>4,504</td> <td>4,825<th></th><td><th>基準財政収入額</th><td>2,743,740</td><td>2,872,719</td><th rowspan="4">資金不足比率(※4)</th><td></td><td></td></td></td>		第3次	4,504	4,825 <th></th> <td><th>基準財政収入額</th><td>2,743,740</td><td>2,872,719</td><th rowspan="4">資金不足比率(※4)</th><td></td><td></td></td>		<th>基準財政収入額</th> <td>2,743,740</td> <td>2,872,719</td> <th rowspan="4">資金不足比率(※4)</th> <td></td> <td></td>	基準財政収入額	2,743,740	2,872,719	資金不足比率(※4)				
		増減率(%)	0.4 <th></th> <td>31.2</td> <td>32.3<th></th><td><th>基準財政需要額</th><td>5,648,298</td><td>5,634,872</td></td></td>			31.2	32.3 <th></th> <td><th>基準財政需要額</th><td>5,648,298</td><td>5,634,872</td></td>		<th>基準財政需要額</th> <td>5,648,298</td> <td>5,634,872</td>	基準財政需要額	5,648,298	5,634,872					
		うち日本人(%)	-0.7 <th></th> <td>9,239</td> <td>9,014<th></th><td><th>標準税収入額等</th><td>3,492,975</td><td>3,656,857</td></td></td>		9,239	9,014 <th></th> <td><th>標準税収入額等</th><td>3,492,975</td><td>3,656,857</td></td>		<th>標準税収入額等</th> <td>3,492,975</td> <td>3,656,857</td>	標準税収入額等	3,492,975	3,656,857						
面積(km ²)	71.41 <th></th> <td>64.1</td> <td>60.4<th></th><td><th>経常経費充当一般財源等</th><td>6,674,956</td><td>6,592,062</td></td></td>		64.1	60.4 <th></th> <td><th>経常経費充当一般財源等</th><td>6,674,956</td><td>6,592,062</td></td>		<th>経常経費充当一般財源等</th> <td>6,674,956</td> <td>6,592,062</td>	経常経費充当一般財源等	6,674,956	6,592,062								
人口密度(人/km ²)	428						歳入一般財源等	12,541,458	12,581,832								
世帯数(世帯)	10,384																
職員の状況																	
特別職等	区分		定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等	区分		職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高		12,416,744	12,226,470			
	市区町村長		1	7,840 <th colspan="2">一般職員</th> <td>196</td> <td>652,680</td> <td>3,330<th colspan="2">うち公的資金</th><td>6,570,687</td><td>5,845,816</td><th colspan="2"></th></td>		一般職員		196	652,680	3,330 <th colspan="2">うち公的資金</th> <td>6,570,687</td> <td>5,845,816</td> <th colspan="2"></th>	うち公的資金		6,570,687	5,845,816			
	副市区町村長		1	6,080 <th colspan="2">うち消防職員</th> <td>-</td> <td>-</td> <td>-<th colspan="2">債務負担行為額(支出予定額)</th><td>300,547</td><td>440,386</td><th colspan="2"></th></td>		うち消防職員		-	-	- <th colspan="2">債務負担行為額(支出予定額)</th> <td>300,547</td> <td>440,386</td> <th colspan="2"></th>	債務負担行為額(支出予定額)		300,547	440,386			
	教育長		1	5,500 <th colspan="2">うち技能労務職員</th> <td>11</td> <td>33,924</td> <td>3,084<th colspan="2">収益事業収入</th><td>-</td><td>-</td><th colspan="2"></th></td>		うち技能労務職員		11	33,924	3,084 <th colspan="2">収益事業収入</th> <td>-</td> <td>-</td> <th colspan="2"></th>	収益事業収入		-	-			
	議会議長		1	2,943 <th colspan="2">教育公務員</th> <td>7</td> <td>22,400</td> <td>3,200<th colspan="2">土地開発基金現在高</th><td>-</td><td>271,046</td><th colspan="2"></th></td>		教育公務員		7	22,400	3,200 <th colspan="2">土地開発基金現在高</th> <td>-</td> <td>271,046</td> <th colspan="2"></th>	土地開発基金現在高		-	271,046			
	議会副議長		1	2,511 <th colspan="2">臨時職員</th> <td>-</td> <td>-</td> <td>-<th rowspan="2">積立金現在高</th><th colspan="2">財政調整基金</th><td>1,927,054</td><td>1,181,115</td><th colspan="2"></th></td>		臨時職員		-	-	- <th rowspan="2">積立金現在高</th> <th colspan="2">財政調整基金</th> <td>1,927,054</td> <td>1,181,115</td> <th colspan="2"></th>	積立金現在高	財政調整基金		1,927,054	1,181,115		
	議会議員		16	2,331 <th colspan="2">合計</th> <td>203</td> <td>675,080</td> <td>3,326<th colspan="2">減債基金</th><td>66,115</td><td>66,098</td><th colspan="2"></th></td>		合計		203	675,080	3,326 <th colspan="2">減債基金</th> <td>66,115</td> <td>66,098</td> <th colspan="2"></th>		減債基金		66,115	66,098		
						ラスバイレス指数(※6)		106.6	(98.4)		その他特定目的基金		12,975,060	2,403,259			
一般会計等の一覧		事業会計の一覧		公営企業(法適)の一覧		公営企業(法非適)の一覧		関係する一部事務組合等一覧		地方公社・第三セクター等一覧				(※3)			
項番	会計名	項番	会計名	項番	会計名	項番	会計名	項番	組合等名	項番	団体名						
(1) 一般会計		(2) 潮来市国民健康保険特別会計		(5) 潮来市水道事業会計		(7) 潮来市下水道事業特別会計		(9) 茨城県市町村総合事務組合 一般会計		(19) 財団法人潮来市開発公社							
		(3) 潮来市介護保険特別会計		(6) 潮来市工業用水道事業会計		(8) 潮来市農業集落排水事業特別会計		(10) 茨城県市町村総合事務組合 県民交通災害共済事業特別会計		(20) 株式会社いたこ							
		(4) 潮来市後期高齢者医療特別会計						(11) 茨城租税債権管理機構 一般会計									
								(12) 茨城県後期高齢者医療広域連合 一般会計									
								(13) 茨城県後期高齢者医療広域連合 後期高齢者医療特別会計									
								(14) 鹿行広域事務組合 一般会計									
								(15) 鹿行広域事務組合 養護老人ホーム事業特別会計									
								(16) 鹿行広域事務組合 消防特別会計									
								(17) 鹿行広域事務組合 火葬場事業特別会計									
								(18) 鹿行広域事務組合 審査会事業特別会計									

(注釈) ※1：経常収支比率の()内の数値は、「減収補填債（特例分）」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
※2：各会計の一覧は主な会計（10会計まで）を記載している。
※3：地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
※4：資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
※5：産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。
※6：ラスバイレス指数の()内の数値は、国家公務員の時限的な（2年間）給与改定特例法による措置が無いとした場合の値である。
※7：住民基本台帳法の改正により、平成25年3月31日現在の住民基本台帳登録人口については、外国人住民を含む。

(1) 普通会計の状況（市町村）

歳入の状況（単位 千円・％）					地方税の状況（単位 千円・％）				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	
地方税	3,106,518	10.6	2,946,579	42.3	普通税	2,936,799	94.5	-	-
地方譲与税	189,905	0.6	189,905	2.7	法定普通税	2,936,799	94.5	-	-
利子割交付金	7,012	0.0	7,012	0.1	市町村民税	1,398,470	45.0	-	-
配当割交付金	5,689	0.0	5,689	0.1	個人均等割	40,678	1.3	-	-
株式等譲渡所得割交付金	1,472	0.0	1,472	0.0	所得割	1,155,509	37.2	-	-
地方消費税交付金	255,640	0.9	255,640	3.7	法人均等割	68,553	2.2	-	-
ゴルフ場利用税交付金	40,512	0.1	40,512	0.6	法人税割	133,730	4.3	-	-
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	1,240,052	39.9	-	-
自動車取得税交付金	49,340	0.2	49,340	0.7	うち純固定資産税	1,219,902	39.3	-	-
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	58,235	1.9	-	-
地方特例交付金	9,859	0.0	9,859	0.1	市町村たばこ税	240,042	7.7	-	-
地方交付税	5,995,301	20.5	3,436,672	49.4	鉱産税	-	-	-	-
普通交付税	3,436,672	11.8	3,436,672	49.4	特別土地保有税	-	-	-	-
特別交付税	312,993	1.1	-	-	法定外普通税	-	-	-	-
震災復興特別交付税	2,245,636	7.7	-	-	目的税	169,719	5.5	-	-
（一般財源計）	9,661,248	33.1	6,942,680	99.8	法定目的税	169,719	5.5	-	-
交通安全対策特別交付金	4,762	0.0	4,762	0.1	入湯税	9,780	0.3	-	-
分担金・負担金	108,675	0.4	-	-	事業所税	-	-	-	-
使用料	111,519	0.4	8,459	0.1	都市計画税	159,939	5.1	-	-
手数料	88,708	0.3	-	-	水利地益税等	-	-	-	-
国庫支出金	13,259,739	45.4	-	-	法定外目的税	-	-	-	-
国有提供交付金（特別区財調交付金）	-	-	-	-	旧法による税	-	-	-	-
都道府県支出金	1,110,223	3.8	-	-	合計	3,106,518	100.0	-	-
財産収入	7,130	0.0	2,901	0.0					
寄附金	24,572	0.1	-	-	区分	平成24年度		平成23年度	
繰入金	176,407	0.6	-	-	徴収率（現・計）	98.2	92.9	97.3	91.7
繰越金	3,025,552	10.4	-	-	（％）	市町村民税	98.1	94.0	97.9
諸収入	328,371	1.1	-	-	（年・計）	純固定資産税	98.0	91.0	93.0
地方債	1,315,314	4.5	-	-					
うち減収補填債（特例分）	-	-	-	-	公営事業等への繰出	国民健康保険事業会計の状況			
うち臨時財政対策債	580,918	2.0	-	-	合計	2,174,136	実質収支	-120,481	
歳入合計	29,222,220	100.0	6,958,802	100.0	下水道	1,326,990	再差引収支	-151,866	
					上水道	76,414	加入世帯数（世帯）	5,605	
					工業用水道	-	被保険者数（人）	10,966	
					交通	-	被保険者	83	
					国民健康保険	200,459	1人当り	132	
					その他	570,273	保険税（料）収入額	242	
							国庫支出金		
							保険給付費		

(注釈)

普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、
単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

歳出の状況（単位 千円・％）					
目的別歳出の状況（単位 千円・％）					
区分	決算額（A）	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	129,192	0.5	-	129,192	
総務費	12,575,360	49.6	52,470	1,729,911	
民生費	3,584,169	14.1	263,541	1,588,627	
衛生費	1,130,161	4.5	159,175	960,438	
労働費	163,930	0.6	-	24	
農林水産業費	311,180	1.2	64,405	219,062	
商工費	217,327	0.9	101,307	134,357	
土木費	1,560,338	6.2	52,652	904,909	
消防費	520,008	2.1	18,286	510,189	
教育費	2,012,919	7.9	1,036,584	933,786	
災害復旧費	1,839,124	7.3	-	322,603	
公債費	1,311,072	5.2	-	1,241,804	
諸支出費	-	-	-	-	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	
歳出合計	25,354,780	100.0	1,748,420	8,674,902	
性質別歳出の状況（単位 千円・％）					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	5,337,124	21.0	3,664,968	3,638,793	48.3
人件費	2,004,594	7.9	1,861,102	1,837,026	24.4
うち職員給	1,174,914	4.6	1,102,367	-	-
扶助費	2,021,458	8.0	562,062	559,963	7.4
公債費	1,311,072	5.2	1,241,804	1,241,804	16.5
元利償還金	1,311,072	5.2	1,241,804	1,241,804	16.5
内 うち元金	1,125,040	4.4	1,060,862	1,060,862	14.1
訳 うち利子	186,032	0.7	180,942	180,942	2.4
一時借入金利子	-	-	-	-	-
その他の経費	16,430,112	64.8	4,318,731	3,036,163	40.3
物件費	1,887,636	7.4	1,367,573	1,200,667	15.9
維持補修費	63,805	0.3	57,416	57,416	0.8
補助費等	893,412	3.5	762,119	643,922	8.5
うち一部事務組合負担金	475,630	1.9	475,352	473,950	6.3
繰出金	2,097,722	8.3	1,363,359	1,122,274	14.9
積立金	11,440,043	45.1	755,670	-	-
投資・出資金・貸付金	47,494	0.2	12,594	11,884	0.2
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	3,587,544	14.1	691,203	-	-
うち人件費	102,358	0.4	102,358	-	-
普通建設事業費	1,748,420	6.9	368,600	-	-
うち補助	1,363,692	5.4	87,760	-	-
うち単独	344,058	1.4	273,970	-	-
災害復旧事業費	1,839,124	7.3	322,603	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	25,354,780	100.0	8,674,902	-	-

(3)市町村財政比較分析表(普通会計決算)

平成24年度

茨城県潮来市

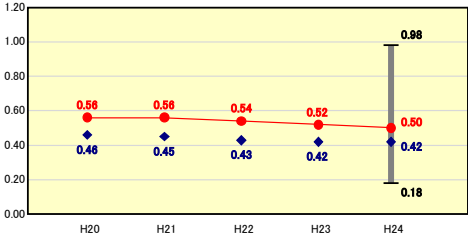
人	29,964	人(H25.3.31現在)	実	赤	字	比	-	%
うち日本	29,637	人(H25.3.31現在)	達	実	赤	字	-	%
面積	71.41	km ²	実	公	債	費	比	8.3
歳入	29,222,220	千円	実	負	担	比	率	16.6
歳出	25,354,780	千円	市	町	村	類	型	H20 I-1 H21 I-1 H22 I-1
実収支	1,141,361	千円	(	年	度	毎	)	H23 I-1 H24 I-1
標準財政規模	7,510,565	千円						
地方債現在高	12,416,744	千円						

※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
※平成25年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。
※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
※類似団体内平均値は、充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。
※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。
※住民基本台帳法の改正により、平成25年3月31日現在の住民基本台帳登録人口については、外国人住民を含む。

財政力

財政力指数 [0.50]

類似団体内順位 36/172 全国平均 0.49 茨城県平均 0.69



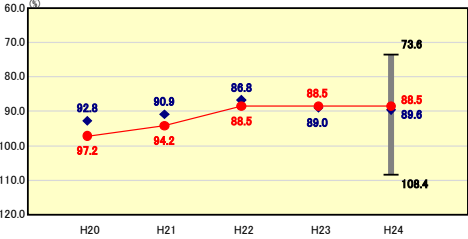
財政力指数の分析欄

長引く景気低迷により個人・法人関係の税収が落ち込んでいたが、平成24年度は東日本大震災からの復興特需により法人税収が増加した。しかし固定資産税の家屋などは、固定資産の評価替えと東日本大震災による影響が重なり減収となっている。
財政力指数は0.50と類似団体は上回っているものの県市町村平均0.69を大きく下回っており、財政基盤は脆弱である。
安定的な財政運営をするためには、産入の確保が急務であり、企業誘致を積極的に推進している。また、平成20年度から5年間で徴収率平均が92.3%と大きな成果を上げているが、引き続き収納率向上の取り組みを強化していく。

財政構造の弾力性

経常収支比率 [88.5%]

類似団体内順位 63/172 全国平均 90.7 茨城県平均 88.0



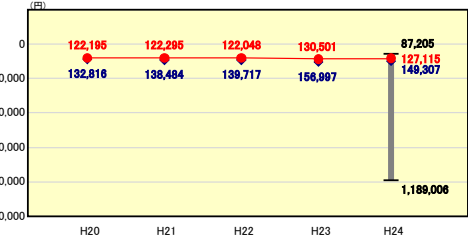
経常収支比率の分析欄

平成24年度は地方税(法人税)収入が増加し分母となる経常一般財源総額が増加したが、分子である経常経費(当一般財源等(繰出金))も増加したため前年同ポイントとなった。
また平成18年3月に策定した第2次潮来市政改大綱(その後集中改革プランへ)により、職員数の削減による人件費抑制、地方債の発行抑制(発行枠10億円)による公債費削減、事務事業見直し、市税徴収率向上のため収納体制整備など推進した成果が表れている。
総合計画での目標経常収支比率91.0%は達成したものの、引き続き経常経費の削減に努めていく。

人件費・物件費等の状況

人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [127,115円]

類似団体内順位 58/172 全国平均 116,454 茨城県平均 107,545



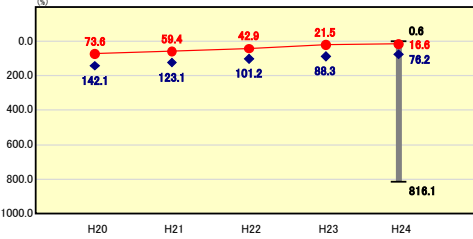
人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄

社会資本整備や行政サービス水準により人口一人当たりの決算額が変化するため、単純に団体間の比較をすることは困難であるが、類似団体に比べれば人件費が低い一人当たりの決算額は低い。
しかし、全国市町村平均・県市町村平均と比べると上回ることから、施設等の管理を含め行政運営の更なる効率化を進める必要がある。

将来負担の状況

将来負担比率 [16.6%]

類似団体内順位 26/172 全国平均 60.0 茨城県平均 54.9



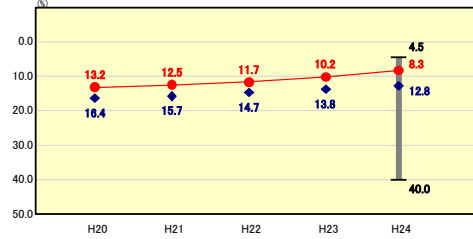
将来負担比率の分析欄

将来負担額については、退職手当負担見込の減、財政調整基金残高の増、また平成16年度から実施してきた地方債発行抑制(発行枠 10億円以内)の効果により、平成23年度と比較し平成24年度は比率が低下した。また類似団体平均と比較しても16.6%と大きく下回っている。
今後も事業を厳選し、地方債発行抑制に努め、地方債残高の圧縮につとめる。

公債費負担の状況

実質公債費比率 [8.3%]

類似団体内順位 15/172 全国平均 9.2 茨城県平均 9.8



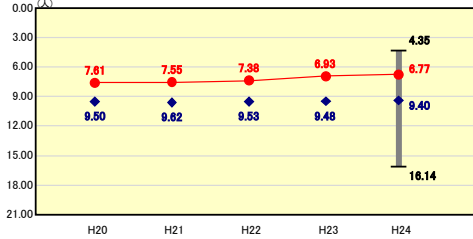
実質公債費比率の分析欄

平成16年度から実施してきた地方債発行抑制(発行枠 10億円以内)の効果により元利償還金は年々減少している。また、算入公債費等では災害復旧費等に係る基準財政需要額が増加しているため実質公債費比率は1.9%低下した。
今後も事業を厳選し、発行抑制に努める。

定員管理の状況

人口千人当たり職員数 [6.77人]

類似団体内順位 15/172 全国平均 7.00 茨城県平均 6.80



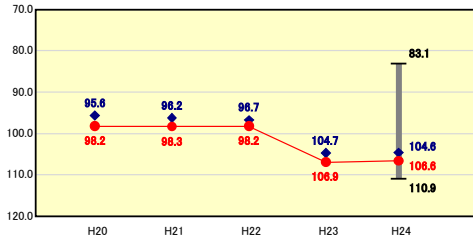
人口千人当たり職員数の分析欄

職員数が、207人(H24.4.1)→203人(H25.4.1)と4人減となり、過去からの新規採用抑制政策により類似団体平均を下回っている。今後職員数については、定員管理の適正化に努めるとともに、平成19年度当初280人から定年退職者等に対し採用を控える等で職員人件費の削減を図る。

給与水準 (国との比較)

ラスパイレス指数 [106.6]

類似団体内順位 132/172 全国市平均 106.6 全国町村平均 103.2



ラスパイレス指数の分析欄

平成25年4月1日現在のラスパイレス指数(106.6)については、国家公務員が給与の臨時特例減額措置の影響により100を超えているが、平成25年7月に国に準じた職員給与の減額を実施したことにより、7月以降のラスパイレス指数は98.4となっている。
年功的な給与体系となっており、今後はこうした要素が強い給料表の構造を見直す必要がある。また、職務・職責に応じた構造への転換を図るため、勤務成績に基づく昇給制度の導入に着手し、ラスパイレス指数を106.6から類似団体平均値まで低下させるよう努めていく。

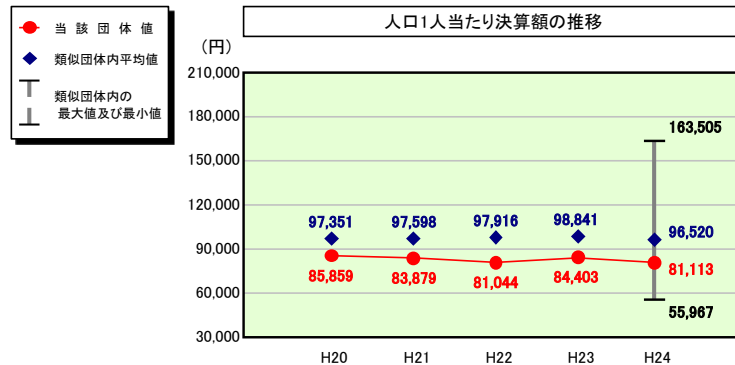
茨城県潮来市

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成24年度

茨城県潮来市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

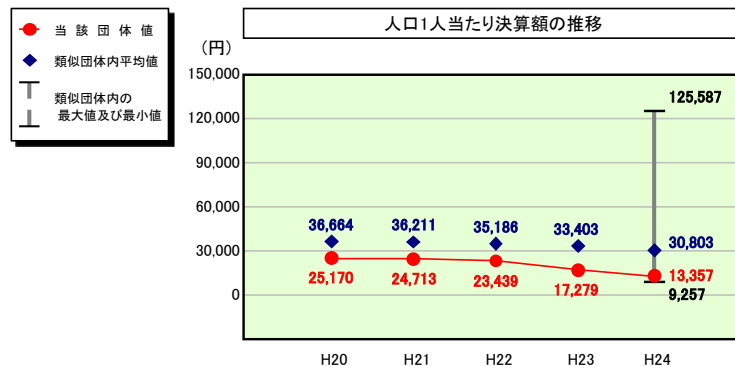
	当該団体決算額 (千円)	当該団体(円)	人口1人当たり決算額 類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	2,004,594	66,900	84,869	▲ 21.2
賃金(物件費)	41,188	1,375	6,996	▲ 80.3
一部事務組合負担金(補助費等)	394,195	13,156	8,876	48.2
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	-	780	-
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	0	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	137,644	4,594	3,514	30.7
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	102,358	3,416	1,798	90.0
▲退職金	▲ 249,524	▲ 8,327	▲ 10,311	▲ 19.2
合計	2,430,455	81,113	96,520	▲ 16.0

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	6.77	9.40	▲ 2.63
ラスパイレズ指数	106.6	104.6	2.0

(注) 住民基本台帳法の改正により、平成25年3月31日現在の住民基本台帳登録人口については、外国人住民を含む。(公債費及び普通建設事業費についても同様)

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

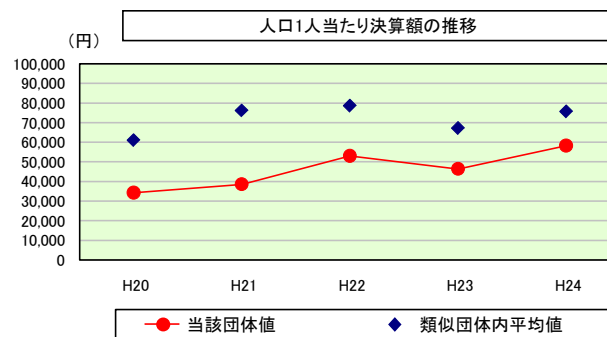


公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	当該団体(円)	人口1人当たり決算額 類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	1,311,072	43,755	65,313	▲ 33.0
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	41	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	416,060	13,885	17,399	▲ 20.2
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	2,428	81	3,541	▲ 97.7
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	-	-	1,662	-
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	10	-
▲特定財源の額	▲ 159,887	▲ 5,336	▲ 4,386	21.7
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 1,169,442	▲ 39,028	▲ 52,776	▲ 26.0
合計	400,231	13,357	30,803	▲ 56.6

※平成25年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

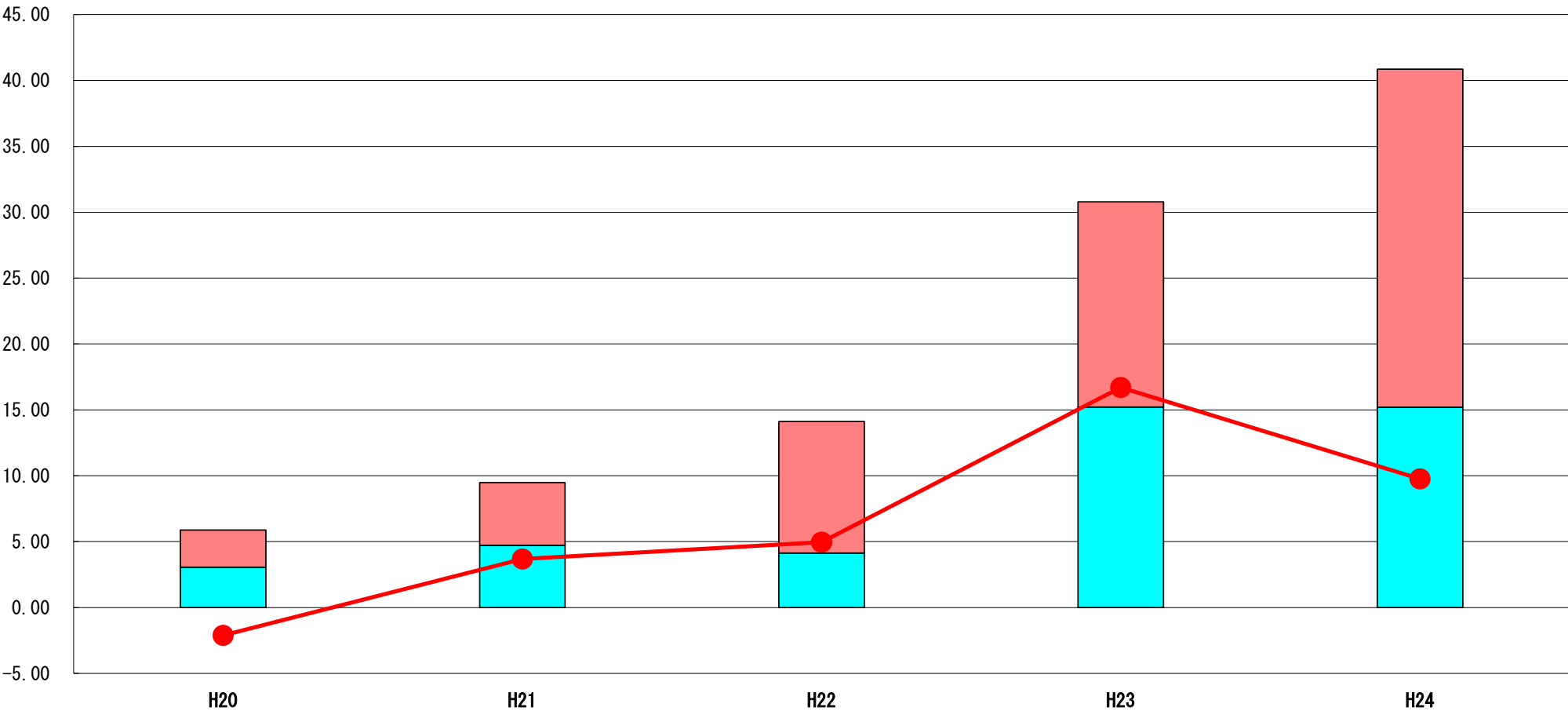
	当該団体決算額 (千円)	当該団体(円)	増減率(%) (A)	人口1人当たり決算額 類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H20	1,058,086	34,273	▲ 14.3	61,050	5.0	▲ 19.3
うち単独分	616,021	19,954	▲ 21.0	31,167	6.0	▲ 27.0
H21	1,181,264	38,611	12.7	76,282	25.0	▲ 12.3
うち単独分	669,366	21,879	9.6	41,092	31.8	▲ 22.2
H22	1,605,181	53,092	37.5	78,670	3.1	34.4
うち単独分	593,872	19,643	▲ 10.2	38,094	7.3	▲ 2.9
H23	1,387,341	46,471	12.5	67,201	▲ 14.6	2.1
うち単独分	420,766	14,094	▲ 28.2	35,210	▲ 7.6	▲ 20.6
H24	1,748,420	58,351	25.6	75,709	12.7	12.9
うち単独分	344,058	11,482	▲ 18.5	35,212	0.0	▲ 18.5
過去5年間平均	1,396,058	46,160	9.8	71,782	6.2	3.6
うち単独分	528,817	17,410	▲ 13.7	36,155	4.6	▲ 18.3

(5) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）

平成24年度

茨城県潮来市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）		年度				
区分		H20	H21	H22	H23	H24
財政調整基金残高		2.82	4.76	9.99	15.57	25.66
実質収支額		3.06	4.72	4.13	15.22	15.20
実質単年度収支		▲ 2.11	3.68	4.97	16.71	9.76

分析欄

平成24年度は東日本大震災からの復旧・復興事業が影響し、歳入歳出とも大きく増加しているが実質収支額は前年並みである。これは、復旧・復興関係の歳入歳出は増加したが、経常的な歳入歳出は変化が少なかったことによる。

また、財政調整基金残高は、財政調整基金への積立額が取崩額を上回ったことなどにより、前年度と比較して増となっている。

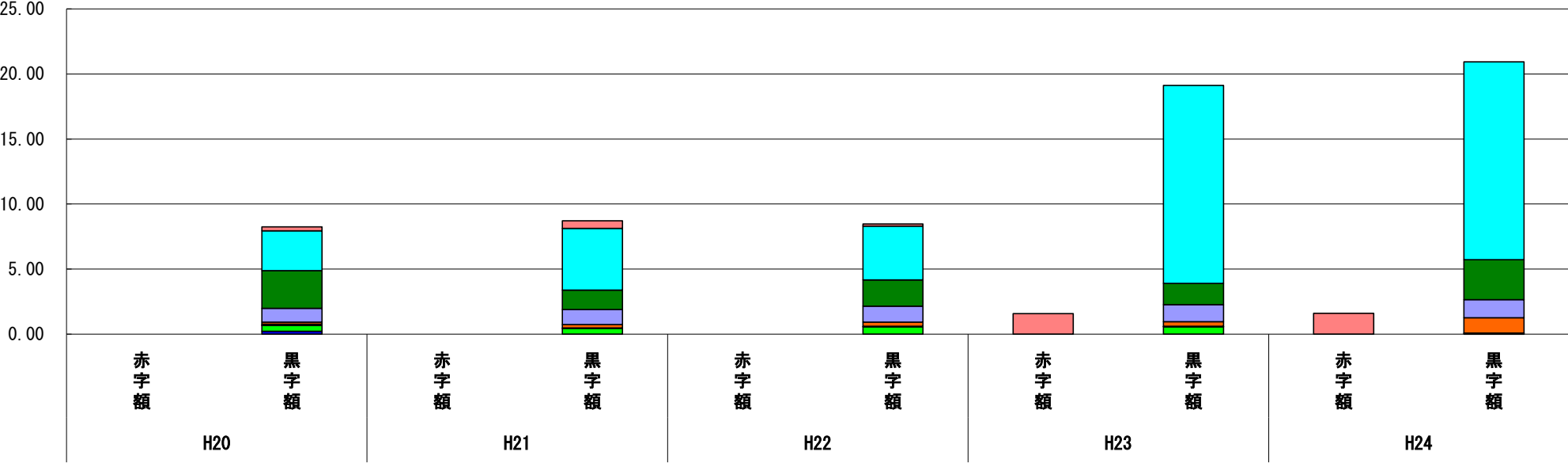
実質収支額は繰越額等により年度ごとに増減があるものの、概ね望ましい範囲で推移しており財政運営の健全性は維持されている。

(6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成24年度

茨城県潮来市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

年度		H20	H21	H22	H23	H24
会計						
潮来市国民健康保険特別会計		0.31	0.58	0.17	▲ 1.58	▲ 1.60
一般会計		3.06	4.74	4.13	15.22	15.20
潮来市水道事業会計		2.89	1.49	2.02	1.63	3.08
潮来市工業用水道事業会計		1.07	1.16	1.23	1.31	1.39
潮来市下水道事業特別会計		0.15	0.26	0.31	0.35	1.17
潮来市後期高齢者医療特別会計		0.09	0.00	0.02	0.02	0.04
潮来市農業集落排水事業特別会計		0.01	0.04	0.04	0.03	0.03
潮来市介護保険特別会計		0.45	0.44	0.55	0.56	0.02
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		0.22	0.00	0.00	-	-

分析欄

算定の結果、連結での実質赤字額は生じなかった。
しかし、国民健康保険特別会計については、支払準備基金もなく繰上充用にて会計処理しているため今後の財源手当が懸念される。
全体では一般会計から各会計への繰出金が増加傾向にあり、一般会計の負担が大きくなっている。
今後は、繰出している会計に対して、収入確保を促し、繰出金を抑制させるようにしなければならない。

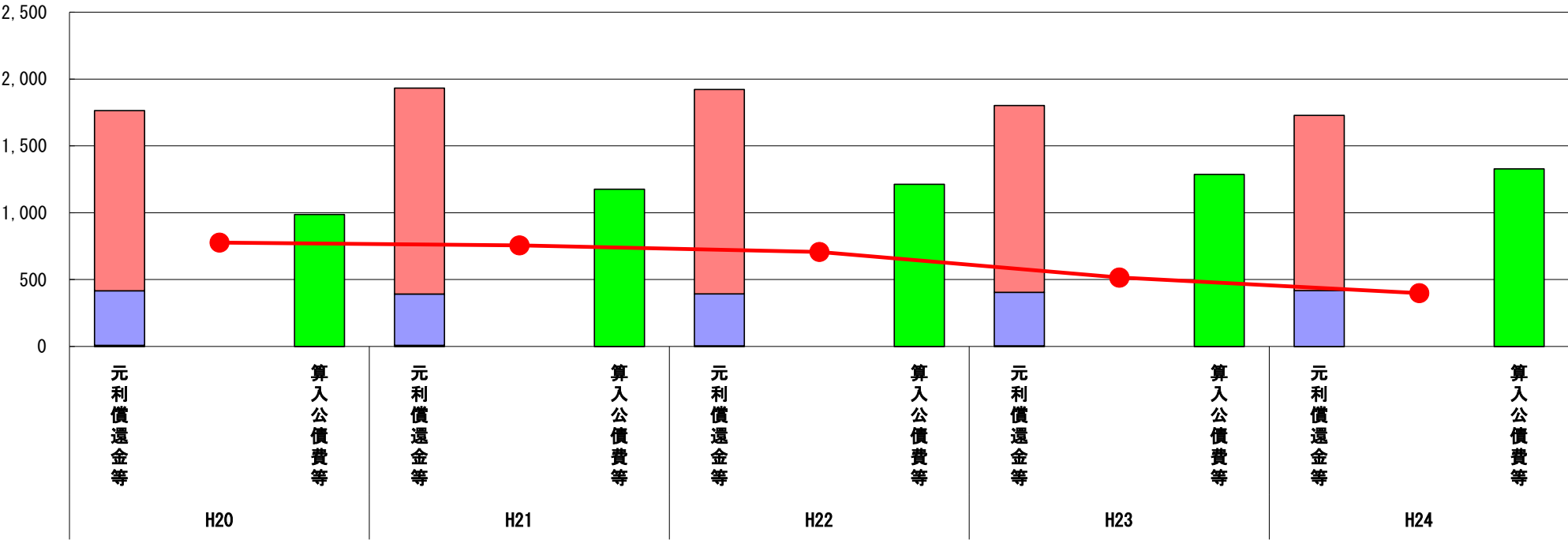
※平成25年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成24年度

茨城県潮来市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H20	H21	H22	H23	H24
元利償還金等 (A)	元利償還金		1,347	1,540	1,528	1,397	1,311
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		408	384	389	401	416
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		9	9	5	5	2
	債務負担行為に基づく支出額		0	0	-	-	-
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		987	1,177	1,214	1,287	1,329
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		777	756	708	516	400

分析欄

算定の結果、早期健全化基準は下回っている。
元利償還金は年々減少しており、平成16年度から地方債発行抑制（発行枠10億円以内目標）を行い地方債残高の縮減に努めている効果が徐々に始まっている。
算入公債費等は、交付税算入率の高い起債の償還が多いことや災害復旧費等に係る基準財政需要額が増加傾向で推移しているため、実質公債費比率の分子は年々減少している。
また、今後は公営企業への準元利償還金に対する繰出金についても抑制に努めなければならない。

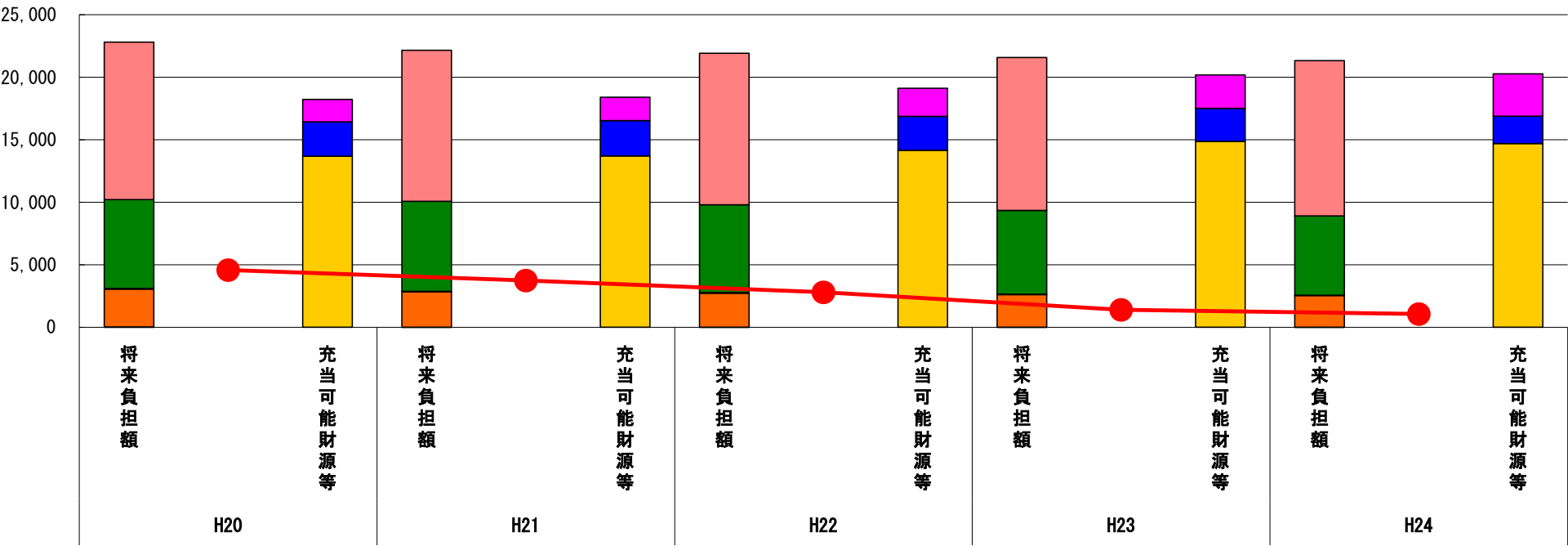
※平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は減債基金積立不足算定額を含んでいる。
※平成21年度決算以降の算入公債費等は特定財源の額を含んでいる。
※平成25年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

(百万円)

平成24年度

茨城県潮来市



(百万円)

分子の構造		年度	H20	H21	H22	H23	H24
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		12,597	12,077	12,129	12,226	12,417
	債務負担行為に基づく支出予定額		-	-	-	-	-
	公営企業債等繰入見込額		7,112	7,196	7,018	6,701	6,342
	組合等負担等見込額		51	43	50	31	30
	退職手当負担見込額		3,016	2,830	2,719	2,612	2,529
	設立法人等の負債額等負担見込額		30	5	5	5	5
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		1,795	1,882	2,256	2,672	3,385
	充当可能特定歳入		2,760	2,821	2,713	2,638	2,182
	基準財政需要額算入見込額		13,673	13,701	14,151	14,871	14,700
(A) - (B)		将来負担比率の分子	4,578	3,748	2,801	1,394	1,055

分析欄

将来負担額の中では、一般会計等に係る地方債の現在高の占める額が最も大きく、次いで公営企業債等繰入見込額、退職手当負担見込額の順となっている。また、分子から控除する額である充当可能財源等については、基準財政需要額算入見込額が最も大きくなっており、将来負担比率の分子の額に大きな影響を与える要因となっている。

将来負担比率の減少についての主な要因は、地方債の抑制を図ったことなどにより、地方債の現在高はほぼ横ばいで推移している。その一方で、充当可能基金の増(財政調整基金)や基準財政需要額算入見込額の増(臨時財政対策債発行可能額)も将来負担比率を減少させる要因となった。

現在は、地方債発行抑制(発行枠10億円以内目標)をおこない地方債残高の縮減に努めており、今後整備予定がある公共施設の事業計画の調整や、公営企業債繰入見込額の抑制を継続する。

※平成25年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。